



一般財団法人  
メルディア  
Meldia Foundation

創刊号

# MELDIA SPORTS

こうして僕は  
プロになった。

支援選手からプロへ

Jリーガー

田中聰

RIZAP

PENALTY



たのしめてる

[スペシャルインタビュー]

JFA 古賀琢磨

湘南ベルマーレプロ契約内定

原 直生

MELDIA

三栄建築設計



「…そのわずか5日後には、ルヴァンカップでベンチ入りを果たしました。」

田中：本当は僕ではなく、他の選手が2種登録となる予定でしたが、その選手が怪我をしてしまって。運もあつたので、今の実力のまま試合に出て大丈夫なのか、不安はありました。結局試合には出られませんでしたが、すごく緊張しましたね。

**学業と両立し、高校生でプロデビュー！「たのしめる」という強み**

「…そして、7月のリーグ戦でプロデビュー。その時も緊張はありましたか？」

田中：ルヴァンカップで初めてベンチ入りした時は有観客でしたが、デビュー戦は無観客だったんです。静かな雰囲気だつたごともあって、練習試合のような感覚でそんなに緊張することなく入れました。

「プロとしての契約が決まったのは、高校3年時の2020年5月でした。

**学業と両立し、  
高校生でプロデビュー！  
「たのしめる」という強み  
ーそして、7月のリーグ戦でプロデビュー。  
その時も緊張はありましたか？**

田中：以前から、サッカーの活動で高校に行けない時期がありました。その時も先生方が協力して、僕を支えてくれていたのを知っています。ほんと行けなくなりましたが、そこで辞めてしまったら、先生方にも申し訳ないと、自分のために動いてくれた人たちの気持ちを考え、しっかりとこの高校を卒業しようと思いました。

鷺坂さんはスタジアムに来る時、前日に必ずLINEで「頑張れよ」と連絡をくれます。意外にマメなんですよね（笑）。

一その後はトップチームや世代別代表の活動が忙しく、高校の出席日数に苦労したとかつていなかったです(笑)。

田中：サッカーが楽しいからです。あまり苦に感じたことはなかったですし、上手くいかない時も仲間がいたので、みんなで乐しみながら続けられたと思います。

—最後に、プロサッカー選手を目指す方々に向けてメッセージをお願いします。

理に行かないようにしたり。隙がないです。  
しきつも冷静なのでやりがいがあります。  
**ルを決めましたね。**  
**一 2021年4月のリーグ戦では、プロ初コ一  
田中：すごく嬉しかったですね。家族をはじめ、いろいろな方から祝福の連絡をいただき  
ました。マルティア財団の代表理事の小池信  
三さんはもちろんですが、これからもお世話  
になった方々にプレーで恩返しをしていきた  
いと思います。**



## 田中 聰=たなかさとし= (写真)

長野県長野市出身。2002年8月13日生まれ。湘南ベルマーレトップチーム所属。ポジションミッドフィルダー。2種登録された2020年に若干18歳にして、Jリーグ初出場を果たす。

**インタビューー**  
**鷺坂 浩章=さぎさかひろあき=**  
静岡県出身。湘南ベルマーレにてインター  
後、一般財団法人メルディアにて青少  
スポーツ支援担当をしている。田中選手は  
が担当した初めての支援選手である。



写真提供=湘南ベルマーレ



高校生でトップリーグへ。奨学生プロ第1号・田中聰(湘南ベルマーレ)

# 長野を出て 湘南ベルマーレ 芽生えた自覚

田中：支えてくれる方に恩返しするためにも、プロを目指してより一層頑張りたいと思いました。一つひとつプレーに責任を感じるようになりましたね。

湘南ベルマーレJ-18でプレーすることが決まりました。当時の心境を教えてください。

一神奈川の平塚で寮生活を送ることになりましたが、心細さはありましたか？

田中：寮生活で、一人ではなかったので楽しく過ごすことができました。当時は本当に自由で、先輩や後輩といつも仲良く遊んでいました。おかげさまで、長野に帰りましたが、いとと思うこともなかったです。

一ユース在籍時からトップチームの練習に参加しましたが、どのような印象がありましたか？

田中：技術はもちろん、プレースピードの違いに驚きました。紅白戦で10分や20分プレーするだけで、息が上がってしまうこともあります。追いつくのがやっとなので、自分なりにやりたいことができず、トップチームに呼ばれるなくなる時期もありました。同級生の他の選手が呼ばれている中で、悔しい思いもしました。ただ、ユースで良いプレーをすれば、また呼ばれると信じて頑張っていました。

今、走ってなくていい。でも、走らなければ、相手に勝てない。だからプレーできるのが強みです。レベルの高い相手に対しても完敗するようなことはなかったですね。

A close-up portrait of a young man with dark hair, smiling broadly. He is wearing a dark grey suit jacket over a white shirt and a blue and white striped tie. The background is a plain, light-colored wall.

**恐れずに、トップチームで勝負する**

## トップチームで勝負する 恐怖ずに、





# 一般財団法人メルディア Meldia Foundation

当財団は、障害のある方を支援する活動と、スポーツ（サッカー等）を行う児童、青少年を支援する活動を通じて、広く人々と社会に貢献する目的を達成するための事業を行っています。



## 青少年スポーツ支援事業

### 家庭の事情等で経済的に恵まれない青少年のための奨学制度

一般財団法人メルディアは、2017年5月に代表理事である小池信三の呼びかけのもと、青少年スポーツへの支援や障がい者支援を通じて、広く人々と社会に貢献する目的で設立されました。

青少年スポーツ支援も障がい者支援も未来に向かって真剣に取り組む方々を支援対象としています。

青少年スポーツ支援の目的は、様々な家庭の事情からプロを目指すだけの才能がありながらその道をあきらめざるを得ない青少年が、その夢を継続できるよう支え援けることです。

2018年4月の支援開始から毎年選考会を行い、数多くの選手を支援してまいりました。4年目となる2021年度は、9名の選手を支援しています。

今までの支援選手の中からはトップリーグで活躍している田中選手や2022年からトップリーグ昇格が内定している原選手が誕生しています。

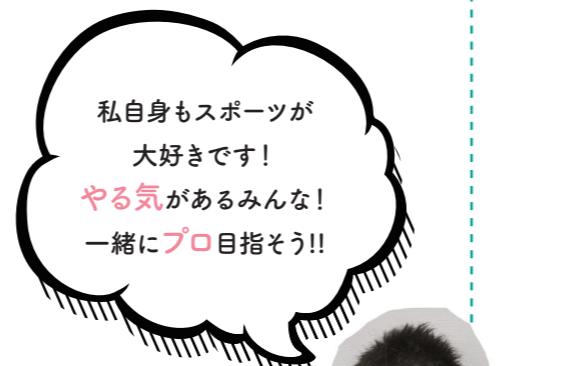
当財団の支援選手の中から未来の日本代表選手が現れる

ことを期待し、これからも支援を継続してまいります。

### 支援担当者からのメッセージ

2018年4月の青少年スポーツ支援事業開始から選手への直接支援を担当し、はや4年が経とうとしています。思い返すと様々な選手と面談で話をし、様々な悩みを聞き、喜びも分かち合い、私自身も成長させてもらった4年でした。スポーツに取り組む中で避けて通れない怪我で、リハビリのモチベーションを維持するのが大変だった選手もいました。復帰への不安や、周囲へ迷惑をかけてしまっていると悩みがちです。私も学生時代スポーツをしており、怪我をして試合や練習から長期離脱した経験があります。自分自身の経験を活かし、少しでも選手達の心が前向きに維持できるようサポートしていきます。私のできる範囲は限られているかもしれません、これからも選手達に寄り添ってサッカーに集中できる環境づくりをし、選手たちの心のよりどころになれば良いと思っています。支援している全員がプロになり、夢を叶えられる訳ではありませんが、支援を受けていた期間のことを、成長に繋がる良い期間だったと振り返ってもらえるように取り組んでいきます。支援を受けることを検討している選手やその保護者のみなさま、まず一度お問合せください。

一般財団法人メルディア  
鷺坂 浩章



#### 求める人物像

1. フットボーラーとして、攻撃的で走る意欲に満ち溢れたマインドを持った者
2. 情熱的で、チャレンジスピリットに富み、何事にも真摯に取り組める者
3. 社会の一員として行動することができる者

■申込、選考の流れ



■進歩審査(毎週)



#### お問合せ

〒163-0632  
東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F  
Tel: 03-5381-3213 mail: org@gf-meldia.com

メルディア青少年スポーツ  
支援事業ページ



スポーツ支援事業  
Twitter



#### PRESENT

「メルスボ」発刊記念に、支援選手第一号である「田中聰選手のサイン入りリストカードを抽選で3名様にプレゼント!  
応募は応募フォームから必要事項を記入していただくと申込が完了となります。  
プロを目指す選手、保護者の皆様は奮ってご応募下さい。





 TeamHub

# 子どもたちの 試合や記録を アプリに残そう

新感覚のスコア管理アプリ

## チームを支える4つの機能

動画・写真共有



成績表



スコア管理



チーム内連絡



サッカー  
フットサルに対応

ダウンロードはこちら▶

チームハブ



同じ家は、  
つからな。